

## 令和6年度第3回大分市公共施設マネジメント推進委員会 概要

I 日 時：令和7年2月13日（木）13：30～

II 場 所：大分市役所別館6階 中会議室

III 出席者（敬称略）

〔委員〕河野 祐子、田中 孝典、長崎 浩介、森永 啓、阿南 春美、田原 乃々花

〔事務局〕大分市企画課（公共施設マネジメント推進室）

IV 次第

1 開会

2 委員長挨拶

3 議事

1. 市民意見公募（パブリックコメント）の結果

2. 第3期大分市公共施設等総合管理計画の最終案

3. 大分市公共施設マネジメント推進委員会検討報告書（案）

4. 今後のスケジュール（案）

5. その他

4 その他

5 閉会

V 議事概要：以下の通り

〔事務局〕 議事「1. 市民意見公募（パブリックコメント）の結果」を説明

〔説明概要〕

- 令和6年12月13日から令和7年1月14日の間、市民意見公募（パブリックコメント）を実施し、4名から8件の意見をいただいた。
- それぞれの意見の概要を説明。

〔委員〕 全体的に公共施設マネジメントの課題を理解いただいており、意見についてもそのとおりという印象を受けています。

特に、基本方針の主な取り組みとして加えた「延床面積増加に繋がる新規整備は行わない」について、「世代間の公平性」の観点からご意見を頂いている点について、同意します。厳しい財政状況を踏まえると新規整備を控えざるを得ないというのは理解していますが、そういった中でもPPP/PFIなどの公民連携の事業手法を用いる中で、上手く事業構築していくことが重要かという印象を持っています。

〔委員〕 施設使用料に関して、市民の側から「増額」という意見をいただいたことに驚いていますが、公共建築物・インフラの老朽化という課題が、市民の間で認識されているように感じています。

引き続き、本計画の広報や施設の現状について、市民に理解いただくよう取り組んでいただきたい。

〔事務局〕 議事「2. 第3期大分市公共施設等総合管理計画の最終案」を説明

〔説明概要〕

- 関連計画や公表資料との整合性を図り、一部修正が生じたことを報告。
- 最終案となる計画案について以下の通り説明。
  - 計画の骨子となる「公共施設等の課題」や「公共施設の目指すべき姿」、さらに目指すべき姿を達成するための「基本方針と主な取り組み」の構成について説明。
  - 将来必要となる公共施設等経費の水準は、直近の実績額と比べて年間 95 億円の増加が見込まれる。長寿命化対策を講じ、施設を延命化することで経費の圧縮に努めたとしても、年間 34 億円の増加が見込まれる結果となった。
  - 最終的な延床面積は、令和 5 年度末時点で約 138.7 万㎡であり、基準年となる平成 26 年度と比較して約 5.4 万㎡（4.0%）の増加となった。
  - 厳しい財政状況の中、更なる経費の増大への対応は困難であるため、延床面積の削減や集約化・複合化等の施設再編を検討する中、施設保有量の適正化を進める必要がある

〔委員〕 計画の体系については、課題を整理し、これからどのような姿を目指していくのか、さらに、その姿を達成するために何をすべきなのかということが体系的にまとめられている。また、その内容が図として示さることで、一目で理解しやすい形とするのは、市民の側としてもわかりやすくなったと感じました。

〔委員〕 今回改定する計画書の本編等を市のホームページに掲載するのであれば、そういったところにわかりやすく図として示すのもよいのではないかな。

〔事務局〕 計画書の本編及び資料編ともに市のホームページに掲載を予定しています。合わせて概要版として 1 枚程度の資料を作成し、公表することも可能かと考えております。多くの方は概要版を拝見されると思いますので、図などを添付することで、ご覧いただく方にご理解いただきやすいよう努めてまいります。

〔委員〕 これまでの委員会では、人口減少社会に突入し、延床面積の数値を確認する中で、面積削減の必要性を議論してきましたが、他の自治体の事例等を踏まえて、施設がおかれている現状の評価にあたっては、「こういった尺度・基準で評価すれば効果ができる」といったものもあると思います。プライオリティをもって、市民の方が納得できるような尺度が必要だと思いますので、そういったことも検討課題となるのかなと感じました。

〔委員〕 今おっしゃられたとおり、延床面積が増えていることだけを見ても判断できない部分は多いと思います。体系的にマトリクスに落とし込むなどの評価も良いかとは思いました。施設の複合化や廃止などといったことを具体的に議論・説明していく際には、そういったものを示すことで市民の方の理解も進みやすいと考えます。

〔委員〕 計画本編に地区毎の人口動態が示されているが、当然、地区によってばらつきがあるので、地区毎に必要とされる公共サービスというのも変わっていくと考えます。そういった部分の分析も行う中で、「この地区は人口構造がこうなるから地区としての施設のあり方はこうしていこう」などのコンセンサスを市として取ることで、計画の推進に繋がるのではないかと感じた。

そのため、事前に庁内全体で、「将来どうなるのか、どうあるべきなのか」という共通認識を図る必要があると思います。

〔委員〕 長寿命対策を講じることで費用圧縮を図るとしても、建築資材の高騰等で事業費自体が上がってきているので、新築とあまり変わらない状況となっている。そうすると、建替で面積 20%削減した方がいいのかもしれない。

厳しい財政状況の中で、収入を得るような施設も考えていかなければいけないと思います。また、市営住宅などの入居率を確認していただく中で、そういった数値を整理し、改修又は建替を考えていけば、施設の方針について議論ができると思います。

〔委員〕 これまでの委員会でも議論になりましたが、長寿命化対策を講じたとしても、施設総量を減らさなければ、問題の先送りになりかねないことから、必要性を踏まえて検討していかなければならないと思います。

また、本来の用途が終了した更新対象外施設や用途廃止施設が増加しているため、そのような施設も手放すという選択肢も視野に入れ、市の収益確保に努めることも重要と思います。

〔事務局〕 議事「3. 大分市公共施設マネジメント推進委員会検討報告書（案）」を説明

〔説明概要〕

- これまでの委員会でいただいた意見を報告書としてまとめ、市長に提出いただく旨を説明。

〔委員〕 報告書（案）にも記載いただいているが、5 年後にこういった計画の見直しに向けた審議がなされると思います。現行の計画期間では、面積が増加したという結果になってしまったので、今後は、どこが庁内でイニシアチブをもっていくのかが重要かと思います。

次回は、現在進行形の目標に向かっている状況で議論ができればと思いますし、上手いかない事例が出たのであれば、それはそれでどういった課題があったのかというのも報告いただく中で議論ができればと思います。

また、これまでハードの部分が主な議論となっていますが、公共施設の整備などのハード事業は、運営などのソフト面とセットで考える必要があると思います。ハードの対策ありきではなく、現状よりも良いソフト事業が展開されれば、市民は満足することもあると思いますので、そういった議論ができればと思います。

やはり、若者が住みたいと思えるような大分市に向かっていければと思います。

[事務局] 議事「４．今後のスケジュール（案）」を説明

[説明概要]

- 今後のスケジュール（案）を説明。

[委員] 意見なし

[事務局] 議事「５．その他」を説明

[説明概要]

- これまでの委員会における議事概要の確認いただくよう依頼するとともに、ホームページに掲載することを説明。
- 計画策定までの間、疑義が生じた場合の判断は委員長に一任いただけるか確認し、了承をいただく。

～ 閉会 ～